

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
特別演習 3											
対象	4 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	松村 哲志 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ系設計事務所において商業建築、住宅などの設計・監理の業務経験を持つ。また独立後は建築設計事務所を主宰している。設計、まちづくりの分野を専門とする。											
授業概要											
この授業では短期課題・長期課題との連携、講師による講演会、実物の見学会、地域モノづくり施設でのデジタルツールを用いた実物制作を具体的に取り組む内容とし、最後に卒業制作への準備講座へとつなげる。											
到達目標											
この科目では、設計課題とのリンクとバックアップ、さまざまな見学と講演やディスカッションを行うなどし、それぞれのタームの短期課題提出物に該当するの成果物の制作を積上げ、長期の最終成果物へ導くことを、命題としてあげる。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題提出 発表 平常点	50% 30% 20%	2回の課題提出、その最後の内容について採点を行う 課題提出に伴う発表及びそこでの議論により採点を行う 普段行われるエスキスの状況、進捗など									
履修上の注意											
この授業では積み重ねが大切である。また、自宅での学習、エスキスに向けた課題への取り組みがクリエイティブの根幹をなすというモノづくりの流れと原則を身体感覚に根差した理解を行う。よって具体的には休まないこと。そして自宅での準備の充実を注意点として挙げる。また実物制作を行うため、そのための準備を怠らないようにする。※なお、設計計画 3 とリンクして授業を行う。											
教科書教材											
資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	長期課題	1st Week	課題説明及び事前準備案内								
第2回	長期課題	2nd Week	フィールドワーク（街歩き）								
第3回	長期課題	3rd Week	場所とプログラム選定								
第4回	長期課題	4st Week	エスキスチェック1								
第5回	長期課題	5nd Week	エスキスチェック2、敷地模型製作1								

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
特別演習 3	
第6回	長期課題 6rd Week エスキスチェック3、敷地模型製作2
第7回	長期課題 7th Week 中間発表会2
第8回	長期課題 8th Week エスキスチェック4、JUMP 1（案をJUMP）平面図 手書き
第9回	長期課題 9th Week エスキスチェック5、JUMP 2、断面図 手書き
第10回	長期課題 10th Week エスキスチェック6、CADバラ図化、模型製作、コンセプト、ダイアグラム
第11回	長期課題 11th Week エスキスチェック7、CADプレゼンテーション提出 1
第12回	長期課題 12th Week プレゼンテーション及びエスキスチェック
第13回	長期課題 13th Week 長期課題 発表会
第14回	卒業制作 準備講座 敷地・テーマについてディスカッション2、エスキスチェック
第15回	卒業制作 準備講座 敷地・テーマの決定、エスキスチェック2、Firstスタディ、後期卒業設計へ